

遠鉄アシスト株式会社

貸借対照表

平成27年3月31日現在

科	目	金額	科	目	金額
資産の部			負債の部		
【 流動資産】	【835,367,238】	円	【 流動負債】	【340,826,155】	円
現金及び預金	36,914,082		短期借入金	50,000,000	
未収金	270,854,807		未払	124,088,783	
預け金	500,000,000		未払費用	89,113,656	
仕掛け品	1,477,154		未払消費税等	54,905,000	
貯蔵品	1,391,918		未払法人税等	13,604,856	
前払費用	18,581,250		預り金	4,893,870	
繰延税金資産	3,159,441		前受金	4,219,990	
その他の	3,374,586		【 固定負債】	【102,983,332】	
貸倒引当金	△ 386,000		退職給付引当金	90,638,000	
【 固定資産】	【74,937,415】		役員退職慰労引当金	12,040,000	
(有形固定資産)	(6,344,740)		資産除去債務	305,332	
建物付属設備	4,412,275		負債合計	443,809,487	
車両運搬具	4		純資産の部		
工具器具備品	1,932,461		【 株主資本】	【466,495,166】	
(無形固定資産)	(19,716,064)		資本金	40,000,000	
ソフトウェア	16,651,064		利益剰余金	426,495,166	
電話加入権	165,000		利益準備金	10,000,000	
営業権	2,900,000		その他利益剰余金	416,495,166	
(投資その他の資産)	(48,876,611)		別途積立金	360,000,000	
長期前払費用	22,816		繰越利益剰余金	56,495,166	
繰延税金資産	36,329,845		純資産合計	466,495,166	
差入保証金	1,485,150		負債・純資産合計	910,304,653	
差入敷金	1,038,800				
その他の	10,035,700				
貸倒引当金	△ 35,700				
資産合計	910,304,653				

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

仕掛品 個別法

貯蔵品 先入先出法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法（ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については、定額法）

② 無形固定資産

定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れに備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上しております。

役員退職慰労引当金

役員の退職に伴う退職慰労金の支払に備えるため、内規に基づく期末要支給見込額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(5) 追加情報

（法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正）

「所得税法等の一部を改正する法律」及び「地方税法等の一部を改正する法律」が平成 27 年 3 月 31 日に公布されたことに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算（ただし、平成 27 年 4 月 1 日以降解消されるものに限る）に使用した法定実効税率は、前事業年度の 36.3% から 34.6% に変更されております。

その結果、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）が 1,940 千円減少し、当事業年度に計上された法人税等調整額が 1,940 千円増加しております。

2. 当期純損益金額

39,669,168 円